



# 榛名養護学校との交流会！

8月28日(水)、昨年度より行われていた榛名養護学校との交流会が行われました。今年度も生徒会本部役員と図書委員会の生徒を中心に訪問し、お互いに交流を図りました。生徒の作文にもあるように、多くのことを感じ、学ぶことができた有意義な交流となったと思います。また来年度も継続していけたらと思います。

## 《生徒作文》

私は長野原高校の図書委員の読み聞かせ班として、他のメンバーとともに大型紙芝居を読み今年も榛名養護学校へ行かせていただきました。

今回の紙芝居の題名は「ありとたまご」でした。昨年は「ゆうちゃんのおつかい」だったと思います。今回読ませていただいた「ありとたまご」ですが、途中、歌を歌う所が2か所ありました。その部分が練習不足で心配でしたが、榛名の生徒さんや先生方が一緒に手拍子をしてくださったおかげで、私達も楽しく歌うことができました。また、私達が大型紙芝居を読む前に和太鼓の演奏がありました。あれは何回聞いてもすごいと思います。昨年も演奏を聞かせていただきましたが、すごく迫力を感じ感動しました。

和太鼓の演奏と大型紙芝居が終わった後は、サービスマンと木工班、陶芸班に分かれてそれぞれの授業を体験させていただきました。

私は陶芸の授業を体験させていただきました。陶芸自体初めての経験で、最初は上手にできるか不安でしたがペアになっていた1年生の女の子に教えてもらいながら作業をしているうちにとても楽しく思いました。私は角皿を作りました。作り終わってから榛名の先生に報告したら、「初めて

しては上手にできましたね。」と言ってもらえてうれしかったです。

体験授業が終わった後は、それぞれ決められた教室に向かい給食をいただきました。私は1年2組にお世話になりました。そこには、とっても元気な女の子がいて、その子とは隣の席だったので、一緒に「嵐」の話で盛り上がりました。

その日の給食は「うどん、鶏肉のゴマ和え、野菜炒め、牛乳、冷凍みかん」でした。どれも美味しかったです。久々の給食に懐かしい気持ちになりました。お昼に温かい物が食べられるのはうれしいですね！

給食の後は別の教室に移動して各学校の校長先生の話があり、その後は写真撮影をして帰宅となりました。なんだかんだで、とても楽しい日になりました。今年の榛名に来ての一番うれしかった事は、榛名の生徒さんと話ができたこと。3昨年は挨拶くらいしか出来なかったもので、私にとってはとても大きな一歩になったと思います。来年は私達3年生はいませんが榛名養護学校さんと、これからも交流を深めていってほしいと思います。



## 《11月～H26.1月の予定》

- 11/28 (木) 2学期 期末考査(～2/3(火))
- 12/03 (火) 風紀検査  
アルバイト説明会
- 06 (金) 図書館一般開放、読み聞かせ
- 20 (金) 終業式、図書館一般開放
- 1/14 (火) 始業式、風紀検査
- 16 (木) 基礎学力テスト
- 17 (金) 図書館一般開放
- 24 (金) 図書館一般開放、英検③
- 29 (水) 硬筆検定③
- 31 (金) 漢字検定③

# エイズキャンペーン!

12月1日は、世界エイズデーです。世界エイズデーは、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的としています。今年も世界エイズデーに合わせて、12月3日(火)に浅間酒造さんでエイズキャンペーン活動を行いました。寒い中、保健委員で浅間酒造に訪れた方々にメッセージカードとレッドリボン、ティッシュを配りました。受け取った



方から「エイズってよく知らなかった」「がんばってね」など声をかけてもらいました。エイズの感染は広がり続けていますが、エイズに対する社会的関心は大きく低下しています。この活動を通して、エイズについて知ってもらおうきっかけとなり、自分の大切な人を守るために一人一人がエイズを身近なこととして真剣に考えてほしいと思います。



# 60周年記念キルトが特別賞受賞!!

本校家庭クラブは、「創造・勤労・愛情・奉仕」の理念のもとで、地域に貢献できる活動をしています。

昨年度、「長野原高等学校創立60周年記念キルト」を製作しました。

「第21回インターナショナル・キルトウィーク横浜」に応募し、「記念・絵・メッセージキルト」部門で「実行委員会特別賞」を受賞しました。現三年生が手形を縫い、私たちの力で「長野原高等学校を支えよう!」をデザインモチーフに学校行事(日食の観察・吾妻溪谷クリーンハイク・花いっぱい運動)や部活動を配置した記念キルトです。

また、実行委員会特別賞を受賞したということを上毛新聞にも取り上げていただきました。



## 長野原高が特別賞

### 開校60年、思い出紡ぐ

#### 校舎、部活、生徒の手形…

インターナショナル・キルトウィーク



長野原高の開校60周年記念キルトと町田さん(右)、山崎教諭

長野原高(武井・茂校長)の生徒が昨年の開校60周年を記念して作ったキルトが、「第21回インターナショナル・キルトウィーク」(同実行委員会主催)作品コンテストの記念賞・メッセージキルト部門で実行委員会特別賞を受賞した。

コンテストはキルト6部門、生活小物部門(袋、巾着、ハンカチ、コースター、キーホルダー、メモ、メッセージキルト)の2部門があった。

この生徒の手形は、校舎や部活、生徒の思い出をテーマに、金環日食の観察や学校生活の思い出を縫い上げた。町田さんは、「みんなで作った

中心となって制作したのは、家庭クラブ会長で生活部長の町田季子(3年)と、同部員4人(授業や放課後、夏休みを前用し、約1年かけて大任を担った)。

たもが入り下り、下美穂さん(由井)と美穂(指導)がコンテナー、山崎教諭は、向山キルト部で、ハチワレ上心持(取り組)の通訳(通訳)で、共同作業を通、鈴木(通訳)と、生徒が大きな成長、市が記念、絵、メッセージキルト部門で受賞した。

興味が深くなった。